



東京会工会だより No.14

平成24年4月20日発行 東京会工会事務局 埼玉県久喜市久喜本764-8 田中健一(42E) TEL 0480-21-6006

書残しておきたい事



東京会工会会長

荒井 士郎

(34年K卒)

平成二年、東京会工会賦活再生の基本方針がまとまり、六月に総会を開催することが出来た。これにより毎年総会を開催する事が可能となり、参加人員の増減はあつても今日まで継続、今後も続くものと思う。

私は平成に入ってから、事務的な作業の一部をT24五十嵐栄先輩から依頼され、先輩の会工に対する熱い思いと情熱に感動し、お引受けした。

会員に案内をする、肝心の名簿はあつたが小間切で再生を図るにはものたりなく、同窓会七〇周年記念誌の会員名簿をバラし、関東地区を抜き取り、それなりの名簿を作成する事が出来、東京会工会八〇周年記念誌に掲載し基準となる名簿が出来た。その後、知り得た情報を追加した。

総会案内は一〇〇通毎年発送(平成二年〜平成十二年)。返信は不参加を含め約四五〇名、不明でもどりが約一〇〇通、宛名書きの作業も大変で、執行役員の方々に御協力を頂いた。

平成八年E42田中健一氏が執行役員に参加、パソコン処理が可能となり、大きな一歩を踏み出す事が出来た。

会津工業卒業生イコール東京会工会会員の構図は妥当ではないとの思いから、住所の判明している三二二五名に対し入会の可否アンケートを発送、約四五〇名の賛同を得、あらためて会員としての確実な名簿が出来た。随時、新規加入者の発掘をしているが、個人情報問題が大きな壁となり、毎年母校から発信される新卒業生名簿、また同窓会で発行している名簿には近年は名前だけで、住所はすべて親元の所となっており、発信する事が出来なく、会員名簿を膨らます事が出来ないのが、現状である。

◎会工会の目的は、垣根を払い相互に胸襟を開き、母校発展に協力し、相互に親睦を深める事にあり、総会、懇親会で酒を酌み交す事も伝統行事のひとつであり、今後も続ける事とし、他にも楽しく親睦を図る事が出来るのではないかと次のような企画をし、実行している。

- ・ゴルフコンペ(平成二年)
- ・イモ煮会(平成三年)
- ・L21鶴川平四郎、T24五十嵐栄両氏の尽力で山形県上の山市の用具を借り、多摩川登戸大黒屋で開催継続中。(平成十四年迄は京浜河川局の許可が必要だった)
- ・地引網(平成十五年)

最初は三浦海岸で行ったが成果なく、次年度よりTOTO会工会の御協力で茅ヶ崎海岸で

開催、天候にもよるが、かなりの漁獲があり、年一度五月に継続中。
・ナシ狩り(平成十六年)
千葉方面でも何か出来ないかという事で、T25板橋桂氏の御助力で鎌ヶ谷でのナシ狩りとなった。
いずれも親睦を深めるには良い企画であり、それなりに評価出来る事と思っている。

◎会員募集の方法として

- ・平成二、四年新卒業生に対する激励会を浅草ゴロゴロ会館で開催したが、その後廃止。
 - ・平成六年、関東方面に進学、就職者に対して勧誘を文書にて配布。平成十六年迄続けたが反応なし。
 - ・平成十六年、優秀な卒業生(一〇名)に記念タオルを配布。
 - ・平成十七年から卒業生全員にP.R文書とタオルを配布。
- 現在の所反応はないが、二〇、三〇年後には芽が出るのかなと思いい期待している。

◎東京会工会存在のP.R

- ・平成三年、八〇周年記念誌発行。
- ・平成六年、会報誌発行。
- ・平成九年、「会工だより」を発行、年一回発行し現在に至る。(活動内容を詳細に報告)
- ・平成十二年、九〇周年記念誌発行。
- ・平成二十三年、百周年記念誌発行。

◎百周年記念行事に関して

もし鶴ヶ城に桜がなかつたら……想像して下さい。石垣があり、杉、松があり桜があつてこそ歴史を感じ、風格品格と五感に染入る名城なのではないでしょうか。米田ワシントンDCポットマック河畔に明治四十四年、当時の東京市長尾崎行雄の発案で二〇〇〇本の苗木が日米友好の証として贈られたが、残念な事に植物検疫でエヌジーとなり翌四十五年、改めて三〇〇〇本を贈り植樹され、百年を迎えた現在も米国の花の名所となり親しまれておるそうです。

さて、母校はどうでしょうか。校舎の廻りには少ないながらも樹木がありますが、校庭に出れば髯梯山を一望出来、結構な景色であるがなが寂しい。この空間に樹木があつたらと長年考えていました。創立百周年の記念を考えた時、永きに渡り心に残る物として桜植樹を執行役員会、総会に図り賛同を得ました。そして、平成十七年三月に植樹祭を行ない、二十本を植えました。その後五年をかけて百本の予定でしたが、平成十九年、六十三本で打ち切りとなりました。打ち切りになった理由は不明ですが、非常に残念な思いをしています。

満開後、花吹雪の掃除、秋の落葉は当然な事であり、自然の摂理を教えるには良い材料ではないでしょうか。先行き子供が減少し、当然応募者も減る。そんな中、校庭いっぱいのは桜は撰別される大きなポイントになるのではないのでしょうか。東京会工会の百本の記念樹は押し折られましたが、きれいな思い出を残す桜は有効な手段と思っています。東京会工会としてはなく、同窓会として再考して頂けたら幸いであり、母校発展に大きな貢献のひとつではないでしょうか。

私は平成二十二年八月、体調を崩し会長職を離れております。会員の皆様には多大の御支援を頂き、誠にありがとうございました。今後とも会発展によりしくお力添えをお願い致します。

平成23年度 会津工業高校の活躍



会津工業高等学校 校長
羽二生 幸雄

1 震災

平成二十三年三月十一日(金) 四階大会議室で入試業務のまっただ中、午後二時四十六分携帯電話の緊急地震警報のけたたしい警戒音があちらこちらで鳴り響いた。その瞬間、突き上げるような縦揺れ、その後大きな横揺れに見舞われた。本館が崩壊してしまふ、窓を突き破って四階から突き落とされるのではないかと最悪の状況を想像させるほど横揺れは大きく長く続いた。会津若松市内の震度は六弱だった。建物



避難所の様子(北体育館)

の四階にいたこともあり、実際の揺れはもっと大きかったように思われた。

その後、県災害対策本部からの要請で、本校はじめ会津若松市内高校(会津・葵・会津学鳳・若商)において、避難者の受入と支援が行われました。本校では、三月十六日(四月六日まで)、北体育館を避難場所として、延べ人数約二〇〇名に対して支援を行いました。また、小高工業高校では、震災並びに原発事故で学校での教育活動ができなくなり、サテライト方式で県内の工業高校に分散して授業が行われるようになった。本校では、約二十七名の生徒が、本校北3棟を仮校舎に、勉学に取り組んだ。学校の被害は、①窓ガラスの破損十箇所 ②建物の亀裂(特に南1棟など) ③体育館の照明降下 ④グラウンドの照明用の電柱が少し傾斜 ⑤鶴翔会館2階の陶磁器破損(破損したものは、県立博物館に依頼して修復しました)

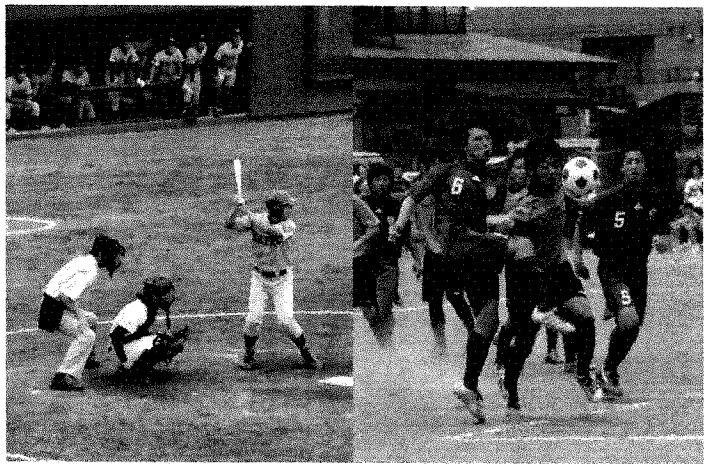


鶴翔会館展示品の被害

二 部活動

屋外での活動は、原発事故に伴う放射線量を気にしながらの活動となりました。通常の値よりも高い放射線量(〇・一四μS/h)値ではありましたが、通常通り、屋外での活動を行ってきました。それでも県内では放射線量が一番低く各種競技の県大会の多くが急遽、会津地区で開催されました。

野球部は、春の大会で会津地区優勝。その力を夏の大会にぶつけましたが、強豪日大東北高校と対戦し惜しくもベスト8進出を逃してしまいました。本校生の汗と泥にまみれながら真剣に試合をしている姿は、本校生徒のひたむきさを感じました。



五色サッカー競技(左)夏の野球大会

文化部の祭典である五〇年に一度の「回全国高等学校総合文化祭(ふくしま総文)」が第三十五回目を迎え八月三日(七日、本県で開始予定でありましたが、当初予定していた福島文化センターでの開会式が放射線量の関係で会津風雅堂に変更して行われました。

会工生は開会式会場の地元校として開会式にスタッフとして参加する傍ら、本校教育の活動成果発表と展示、案内を行いました。写真部、美術部、新聞部の部員は全国から送られてきた作品を展示、案内するスタッフとして来場者をもてなしました。高校生の逞しい地に足の付いた活動は、震災と原発事故に意気消沈していた会津地方に、元氣と勇気を与えてくれました。



ふくしま総文開会式(ふくしま総文HPより)



▶ 高校生ものづくりコンテスト全国大会出場
左 土屋君(3M)、右 渡邊さん(2M)

三 高校生ものづくり大会

本校では、ものづくり教育の一環として、会津地方の企業と連携して人財育成に取り組んでいます。その中の一つに、高度な技術力をもった技術者による技術指導があります。株式会社会津オリンパスの協力を得て、国家技能検定普通旋盤三級取得や高校生ものづくりコンテストに向けた指導を行いました。その結果、国家技能検定普通旋盤三級では、九名の生徒が合格。高校生ものづくりコンテストでは、二年連続全国大会を果たし、全国に会津工業高校の旋盤技術の高さを知らしめることができました。また、この大会の今年度の福島県大会旋盤部門では本校機械科の紅一点渡邊さんが本校代表として出場し見事、女子では初めての優勝を果たし、来年度の東北大会の出場のキップを手に入れました。三年連続全国大会出場に向け、技術力を磨いています。結果をご期待ください。

四 行事

(一) 創立記念講話(11月17日)

今年の講師は、平成十四年度セラミック科(旧窯業科)卒業生の山口雅文君にお願いしました。山口君は、小学生の時から水泳



▶ 創立記念講演会山口雅文君
(H14年F科卒)

を始め、中学生で県の強化選手に選出され、本校ではインターハイと国体に出場しました。その後、中央大学に進学し在学中の二〇〇五年、トルコで開催された世界ユニバーシアード大会一〇〇M背泳ぎで優勝し、卒業後は、ミズノ水泳チームに所属し、二〇一一年世界ワールドカップ大会五〇Mと一〇〇M背泳ぎで優勝しました。

その彼が、話した講演の内容は、これまでの実体験の中で感じたこと思ったことを含みながら今年のロンドンオリンピック出場に向けた取組や思いについて、また、これまで水泳一筋にやってこれたことへの感謝の気持ちを語りながら一つのことをやり通すことの大切さについて、静かな語り口でありました力強く語ってくれました。生徒達は先輩の話に共感を覚えながらさすが一つのことを究めようとするアスリートだなと感じながら聴き入っていました。講演会の終わりに、生徒会長からはお礼の言葉とともに熱いエールが贈られました。

(二) 体育祭(10月31日)

会工祭一競歩大会一体育祭のローテーションで行っている今年の学校行事は、体育祭でありました。開催前日から雨が降り

当日も朝から雨が降ったりやんだりのあいにくの天候となりましたが、生徒会の熱い思いで断行して体育館に変更しての開催となりました。ここでは、思いっきり体を使った体育的な運動は取り止め、各科による応援旗の披露と応援合戦を行いました。応援旗は、各科の特徴が見られ、応援合戦では各科の縦の繋がりがや団結力の強さを見ているいいきっかけとなりました。

午後は、午前中の体育館での熱気が天に届いたせいか雨がやみ、校庭で本来予定していた競技を行うことが出来ました。教職員による竹馬競争。クラス対抗綱引き競技。そして、最後の締めくくりに行われた部活動対抗リレーでは教職員もそれぞれの科の選手の一員となり濡れた校庭を泥を跳ね上げながら、真剣に走りました。



▶ 三年に一度の体育祭(部活動対抗リレー)

5 ものづくり教育の広報活動等

工業高校の取組を地域住民の方に知ってもらう機会として「会工祭」があります。多くの来場者が訪れ、本校の取組や生徒の活動を見学したり体験したりしています。しかし、時代は大きく変わり、学科改変による科名変更やクラス数減少という、大変革に見舞われています。

地域住民に会津工業高校のものづくり教育を知って、興味関心を持ってもらう為に出て広報活動を積極的に行っています。

(一) ものづくり学園祭(10月29日、30日)

会津若松市が開催している「会津ブランドものづくりフェア」の会場に、本校では各工業科の取組を体験とおして理解してもらうことを目的に「ものづくり学園祭」を出展しています。毎年好評で、多くの市民が訪れ、「来年も楽しみにしている」といった声も聞かれました。今年の入場者数は約二万七千人でした。



▶ ものづくり学園祭入場ゲート
(会津ブランドものづくりフェア会場)



「ロボコン in あいづ 2011」の様子

(二)ロボコン in あいづ (11月12日)

会津の子供達が、ものづくり教育をとおして立派な技術者となることを目標に、四年前より「ロボコン in あいづ」を開催しています。小学生チームから社会人チームまで三十チームが、熱いバトルを展開します。ここでは、本校の機械研修部の生徒が市内の小学生に競技技ロボット製作の為の手ほどきを行い会津ものづくり宣言を實踐しています。

(三)セミナー (12月7日～9日)

五年前より生徒の自由な発想力を、ものづくり用工具の開発に生かせないかという目的で、パテント教育を行っています。地元企業の技術者の指導を得ながら取り組んでいます。その成果品を、半導体製造装置の国際展示会セミコンジャパンに出展しています。今年は、機会研修部ロボット班が、ロボットづくりに使える便利な工具を開発し、出展しました。会場で、生徒達は国内外の技術者に対して、堂々と時には英語で説明している姿は頼もしく思いました。このことは参加した生徒達だけでなく学校全体の学力の向上、技術能力の向上、国際力の育成に大いに役立ちました。

六 進路

(一) 進路実現のための取組

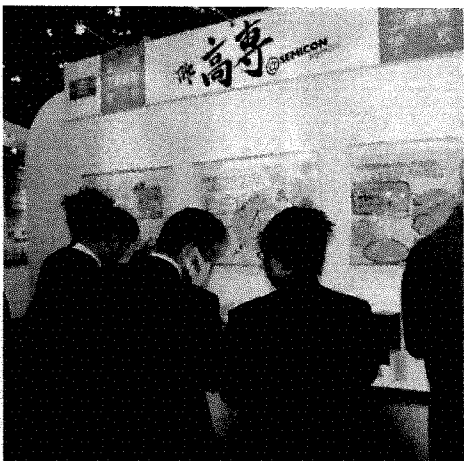
① 企業説明会 (7月12日)

高校生の就職活動は、七月一日から始まります。よりよい企業選択を目的に、夏休みが始まる前に、内外企業による説明会を開催しています。今年は、二十七社の企業が参加して行われました。

② インターンシップ (10月25日～27日)

毎年一年生全生徒を対象にインターンシップ(企業体験実習)を行っています。企業での体験は、社員との交流や工場での作業体験をとおして、社会人として身に付けてもらいたい能力の育成に役立っています。また、進路決定に多いに参考になっています。

受け入れ企業からは、本校生徒の礼儀正しさや、積極的な働きぶりにお誉めのことばを頂き、生徒は、そのことを糧にし充実した学校生活を送ることに繋がっています。

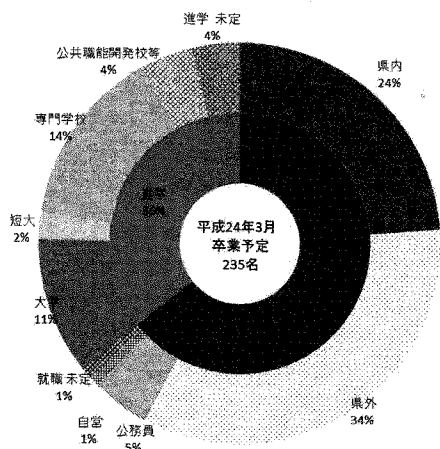


SEMICON会場での様子

(二) 平成二十四年三月卒業生徒の進路状況

震災の影響でどれだけか求人がくるか心配しましたが、昨年度より多くの企業より求人がきました。平成二十四年一月現在、就職未定者二名、進学未定者九名です。県外企業内定者のほとんどが、関東地域に就職します。東京会工会の皆様方のご支援をよろしく願います。

企業説明会 (右 荒川産業でのインターンシップ)



七 あとがき

平成二十三年度の東京会工会創立一〇〇周年、誠におめでとうございます。改めてお祝い申し上げます。

さて、本校は、平成二十四年度創立一〇〇周年の記念すべき年を迎えます。この歴史と伝統のある会津工業高校は、関東をはじめ、東海・近畿に多くのものづくり人材を輩出してきました。OB、OGの皆様方が、各分野で活躍され「会津工業高校ここにあり」と世間に知らしめていただけたことは、本校生徒の進路実現が一〇〇%であることより明白な事実であります。

時代の流れで、会工も大きく変わっています。しかし、変わらないことは、常に産業界で活躍する「ものづくり人材」を育成し世に輩出していることです。今後も、東京会工会会員の皆様方のご支援を賜りながら会津工業高校の伝統を絶やすことなく取り組んで参りたいと思っております。

最後に、東京会工会会員の皆様方のご健勝とご発展をご祈念し、あとがきとさせていただきます。

東京会工会一〇〇周年総会を終えて



幹事長

五十嵐 昭夫

(35年A卒)

東京会工会、一〇〇周年のメモリーある年を迎えるにあたり、三つの事業を行う計画を立て、まず、記念事業の一環として平成一七年三月より母校に桜の苗を植樹。皆様から桜基金のご協力を頂きながら六三本の植樹を完了。平成二二年四月二四日に桜植樹完成記念式典を盛大に行うことが出来ました。

記念誌の発行に向け、最終的編集作業が進む中、並行して記念式典の準備も進められていました。そんな中、三月十一日東日本大震災が発生。急遽役員会を開催し、日本全体が自粛ムードのなかで記念誌だけは発行しようということになった。さて記念式典は如何なものか議論を交わした。何もかも中止という意見もあったが通常の総会だけは行うこととなった。しかし時間が経過とともに、震災直後より世の中が和らいできて行事も復活してきた。我々もみんな元気を取り戻そうと、一〇〇周年記念総会として余興等を自粛しながら開催する事となった。

記念講演は外部から招く予定を変更し、会員の堀雅宏常任幹事(三六E横浜国立大学特任教授)にお願ひし『環境と健康と幸福』をテーマに、環境の健康影響についてどのように考えればよいか、健康と心の関係、人間の幸福についての有意義な講演を

頂きました。

自粛ムード総会にもかかわらず、会津より若狭同窓会会長、吉田顧問はじめ学校関係、同窓会幹部、若松・坂下会工会、建友・電友・機友・セラ友・美修会から二十名もの大勢の方々に。また、遠路より近畿会工会渡部名誉顧問、星東海会工会会長にも参加して頂き総勢百十八名と大盛況のなかで終わることが出来ました。

立派な記念誌の発行と合わせて三つの事業が出来ましたことは、執行部の献身的な努力と会員皆々様の賜物と哀心より厚く御礼申し上げます。この絆は二〇〇年に向かつて新たな出発になることと思います。自分もこのメモリーある一〇〇年の記念事業に携わる事が出来たことを幸せに思う次第であります。

堀雅宏氏(36E)の講演



環境と健康と幸福



堀 雅 宏

(36年E卒)

東京会工会の一〇〇周年を記念する総会でお話しさせていただき光栄に思っていますが、落語の三題話のような表題でしたが、以下はその概要です。意のあるところをお汲みいただければ幸いです。

現代日本では、持続可能な環境・健康・快適性に多くの人の関心がゆき、とくにここ十年は安心・安全が求められてきました。一口に「環境」問題といわれますが、①地球規模の間接的・世代的影響の問題で気候変動(地球温暖化による)や生物多様性の減少など。②日常的な生活の質にかかわる問題で景観の破壊・騒音・振動・日照・悪臭等がこれに当たります。③化学物質の環境汚染による人体や生態系への直接的影響(環境毒性)の問題の三種類に分けられます。かつて会津でもフッ素(喜多方市)や重金属(磐梯町)の大气や土壌汚染が公害問題になりましたが(水俣病、四日市喘息なども)、環境問題は特定の有毒物質を使用しない普通の生活者も原因者になり、被害者にもなるものです。車、生活排水、地球温暖化の問題などがこれに当たります。排出された汚染物は大气や水の中で拡散し、浄化もされるのですが、環境の能力にも限界があるからです。

生活習慣などの社会的要因によって支配されます。環境は人が暴露され摂取する空気、水、食物、医薬品などで、有害な化学物質や微生物、電磁波(紫外線や放射能)があれば影響を受けますが、同様に周囲からの心理的な影響も受けます。環境中には多かれ少なかれ、人工的なあるいは自然由来の有害な有害物質(要因)がありますが、その影響の大きさは種類と量によって大きく違います。悪い影響を受ける割合をリスク(危険性)と呼んでいます。が、リスク学では化学物質を使う限り環境のリスクゼロはありえないので、例えば、死亡率が十万人に一人の影響程度であれば受け入れなければならないとしています。限りなくゼロを目指すコストとエネルギーのデメリットが大きくなるからです。ちなみに近年の日本の統計では交通事故は十万人に十一人、ガンは二十二二人、感染症は十四人です。化学物質による環境汚染は例えば、農薬、ダイオキシンのような有機物、水銀などの重金属などが心配されていますが、現在の日本ではこれらのリスクは非常に低いのです。例えばマグロのメチル水銀(水俣病の原因物質)の規制値(影響のあるまで一〇〇〇倍の余裕を見ている)は〇・三ppmですが、現状は妊産婦でトコを毎週五〇g以上食べなければ問題ない水準です。

(mSv)以上では線量に比例して発ガン率が増加することが確認されています(年一〇〇mSvの放射能に暴露されれば一〇〇人のうちガンになる人が三〇〇人のところ三〇五人になる)。しかし、これ以下ではほかの原因に隠れて影響は統計的に検出できないし、人体にはガンの芽を排除する機能もあるので心配はないとする安全派の専門家がいます。一方、心配派の専門家は一〇〇mSvで〇・五%であるならば一mSvでは〇・〇〇五%、十万人に五人が発ガンすることになるので、通常より多くの放射能を取り込むとこの機能が追いつかない可能性のあることを指摘しています。このように専門家の間でも意見が違うのに福島県民は今も避難すべきか戻るべきか自己判断を迫られているので辛いのです。放射能の影響は確率の問題ですので、低ければ低いほど安心できますが、絶対安全はななくまた、現実には達成できなければ意味がありません。なお、いま決められている年五mSvは受ける放射能の管理目標基準であって、超えたから危険、下回ったから安全という値ではありません。

かつて生活環境でシックハウス症候群や化学物質過敏症が注目されました。シックハウスでは労働環境の一〇〇分の一以下の低濃度が問題になるのですが、繰り返しホルムアルデヒドやトルエンなどの暴露を受けたときにホルモンバランス異常やストレス等が重なり一部のひとは発症します。ここでもそうですが、心理的な影響はかなり大きいのです。一方、抑うつ、高血圧、糖尿病、肥満、骨代謝異常、発ガンなどの現代病は生活の中で感じる不安、いらだち、怒りや運動不足、食へ過ぎ、飲みすぎ、夜食、喫煙、睡眠不足、疲労などの生活習慣に起因するといわれています。これらのストレスが脳内に毒性の強いノンアドレナリンホルモンを分泌し、免疫力、老化防止、自己癒力を低下させるのです。環境汚染の影響よりもストレスの影響を受ける場合が多いのです。免疫力を高めるためには①ストレスを消す(ストレスと戦うのではなく、例えば開き直る、涙など)、②体を冷やさない、体を暖める(入浴、サウナ、運動)、歩くこと、③食へ過ぎず、野菜(果物)、味噌、海草を毎日とる、④睡眠と生活リズム(早寝早起きなど)が有効です。放射能が心配な場合、空気や食物から摂取をコントロールした上でこれらの対策も勧められます。

最後に「探してもどこにもない。それは求めるものでなく、人と出会い、人のために何かしてあげられた時などに結果として感じるものである」といわれる「幸福」ですが、健康や寿命とも大いに関係があるのです。また幸福は何か獲得、達成したときにも感じられるのですが、感動・感激こそ幸福の本質であります。心から笑えたと同じですが、ストレスの時とは逆に脳内にβ-エンドルフィンが分泌され、免疫力、老化防止力、自己癒力が高まるからです。

私はこのごろ「ひととはひとに逢うために生きている」のではないかと思うことがよくあります。震災後、人間の絆の大切さが言われていますが、幸福はよき人間関係の中にこそあるものです。その一つの東京会工会は故郷と学舎をともにした方々の緩やかな絆ですが、これからも大切にして行きたいものであります。環境と健康と幸福は私たちの中でつながっています。幸福は感じられることがゴールであります。

あたらしく会員になりました



張 替 千代子
(45年デ卒)

東日本大震災の被害者の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災が起きてから十ヶ月あまりとなり、福島の場合は大変深刻な事態となり、世界的な問題になろうとしています。その中で被災者の方々の生活の安定と震災後の復旧、復興と数字では表せない大変な努力を必要としています。友人の娘さんは仕事の休みごとにボランティアで手伝いに出かけているとのこと。若い方々には本当に頭が下がります。大人達は未来ある子供達に大きな負の遺産を背負わせてしまったのではと思うと、申し訳なく残念で涙がこぼれます。

十一月中旬に何年ぶりかで裏磐梯に撮影仲間と出かけてまいりました。紅葉は終わりがかけていて時折霧雨も降る寒い二日間でしたが、樹々の間から柔らかな光が差し掛け、濡れた葉はキラキラととしてコバルトブルーの湖面に映えて素晴らしい風景でした。また、緑の芝生に真っ赤なナナカマド、カエデ、ニシキギ等の葉が絵巻模様のごとく降り落ちていてまさに感動ものでした。こんなに素晴らしい自然が残っている福島県なのです。未来ある子供達のためにも汚さず手渡したいと思えました。一日も早い復旧復興をと心より祈るばかりです。今回、初めて東京会工会会員となり、多



摩川の芋煮会に参加致しました。初め躊躇しましたが(男性ばかりの中に……)友人とも何十年かぶりかで会えるし、また以前所属していた写真クラブにいらした会工会の先輩会員さんにも会えるかなと思ひ、秋空のもと出かけました。なんとも驚きました、先輩方々のエネルギーが素晴らしい姿に、懐かしい会津弁、校歌、応援歌と、先輩会員さん方の体調を心配するほどの迫力にビックリ

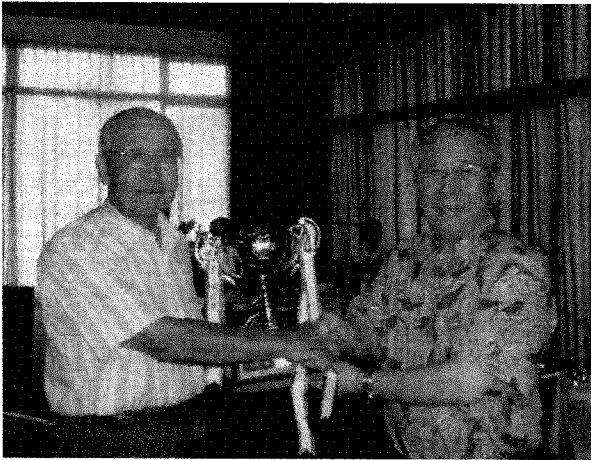


です。会津料理のニシンの山椒漬、ニシンの天ぷら、饅頭の天ぷら、地酒と美味しい物をご馳走になり、本当に作って下さった方々に感謝です。
会は百周年を迎えた記念の年との事、これからは先輩、後輩皆々様の発展を期待いたします。機会があればまた行事等に参加したいと思ひます。これからも宜しくお願い致します。



第二十二回 東関東ゴルフ大会

金作 等
(31年 E 卒)



表題のゴルフ大会が九月十四日栃木ヶ丘 GC に於いて意気上がる十九名の同窓生に依り熱戦が繰り広げられました。
ゴルフ大好き仲間が一年振りでの再会で懐かしい会津弁での挨拶も飛び交い、いやが上にも会工会のコンペとしてのムードが盛り上がる時でも有ります。当日は快晴で絶好のゴルフ日和に恵まれ、何時もの緊張するスタート風景でした。私もそんな中、今回新調のドライバーでしたので心配の第一打でしたが会心のショットで真ん中をキープ、その後のショットも安定し久し振



りでハーフ三十台も出て思いもかけず優勝の栄冠に輝く事となりました。これも偏にパートナーの五十嵐さん、小林義明さん、会津から初参加の小山さんとの和やかで軽妙な会話での賜と心から感謝を申し上げます。
ゴルフは唯一自分が審判で自分との闘いのスポーツです。奥が深くまさしく人生そのものだと思います。これからも健康に留意し、この伝統あるゴルフ大会に一年でも永くチャレンジして行きたいものです。
最後にいつも開催にご尽力の伊藤孝行幹事に心から感謝！ ゴルフ大好きな皆さん、次回も元気で会いましょう！
(優勝) 31 E・金作 等
(準優勝) 41 G・中島 政彦
(三位) 41 G・清水 悦美

第九回 西関東ゴルフ大会

伊藤 孝行
(38年 M 卒)



今回の大会(平成二十三年十一月十一日は、昨年と同様「御殿場ゴルフ倶楽部」で開催されました。
朝から雨が降り、スタートしてからは土砂降りになってしまいました。皆さん合羽を着てのプレーでしたが、9ホール全員が終了した時点で、競技を短縮し風呂に入ってから昼食兼パーティで表彰式が行われました。
皆さん苦労された様子ですが、優勝という栄冠をいただきました。
ゴルフの賞品は御殿場ゴルフ倶楽部の支



配人及び玉川さんのご好意により沢山用意されました。表彰式の後倶楽部のご好意により全員(十四人)の記念撮影を行いました。
ゴルフ大会の前日は、全員が宿泊して(TOTOフォレスト東富士 五十嵐清夫さん 斎藤博正さんの所属した会社の保養所)一次会から四次会までワイワイ(カラオケ有)と楽しいひと時を過ごすことができました。
今年で前泊は三回目ですが、皆さんに喜ばれています。ゴルフを楽しむ方がおりましたら是非参加していただきたいと思えます。
(優勝) 38 M・伊藤 孝行
(準優勝) 41 G・中島 政彦
(三位) 40 A・星 昌勝

平成23年度東京会工会総会出席者

日時：平成23年6月18日(土) 場所：上野精養軒

(敬称略)

〔御来賓〕

- 会津工業高等学校教頭 山野 敏 (49G) 同窓会監事 坂内 茂男 (32K) 電友会会長 根本 一雄 (36E)
同窓会顧問 吉田 一榮 (20K) 同窓会幹事 梨子本 傑 (41K) 電友会会計 棚木 武夫 (36E)
同窓会副会長 若狭 春生 (38K) 同窓会事務局 嶋巢 幸江 (58M) 機友会会長 栗城 和夫 (41M)
同窓会副会長 小山 源昭 (38A) 近畿会工会名誉会長 渡部 藤雄 (31E) セラ友会会長 渡部 洋子 (32K)
同窓会幹事長 山岸 清 (41A) 東海会工会会長 星 芳雄 (36E) 美修会会長 白井 充 (45L)
同窓会副幹事長 藤田 晴史 (40E) 坂下会工会顧問 大堀 順一 (27C) 同窓会幹事 佐藤 義之 (42M)
同窓会副幹事長 荒川富士雄 (43M) 若松会工会 安藤 昭男 (35T)
同窓会副幹事長 木村 洋一 (50K) 建友会 小林 清 (28A)

〔会 員〕

- T16 押山登喜男 K32 五十嵐満男 C24 蓬田 光雄 M38 佐藤 利秋 E31 磯谷 勝昭 D44 葉室 忠
29 相田 一夫 32 岸 宗男 25 石見 勝雄 39 小椋山 敏 31 金作 等 A28 渡部 保男
29 室井 耕平 33 五十嵐清夫 25 三浦 正裕 39 古見 四友 31 鈴木 忠恵 29 杉本 次雄
31 江川 尊 33 大竹 國正 29 岡島 文弘 39 渡部 武弘 32 岡村 進 32 小椋 義昂
34 小池 清 33 加藤 修次 31 秋山 利光 40 桑原 勝義 33 五十嵐邦雄 32 金子 昌輝
34 猪股 英吉 33 出羽 重夫 35 山内 尚 40 杉原 努 36 堀 雅宏 32 木村 幸弘
41 猪俣 和男 33 玉川 進 37 佐藤 武 40 鈴木 邦男 37 阿部 龍吉 32 小林 敏孝
33 成田 正明 46 大竹光弥(1) 40 戸野部武彦 37 大越 靖彦 32 小林 敏孝
L16 佐原 実 33 渡部 善七 G41 中島 政彦 41 一条 実 37 星 実 35 五十嵐昭夫
21 鶴川平四郎 34 辺見 輝夫 M23 諸橋 榮輔 41 星 久 41 生野 勇司 36 伊藤 龍
25 穴澤 三郎 36 渡辺 満 44 渡部 雅俊 41 日下 幸雄 36 神 秀樹
33 渡部 弘 39 石本 清八 23 梅田 和男 44 三国 鉄雄 41 村尾 伊之 36 星 幸一
35 芳賀 勝義 40 鈴木 俊策 27 田場川善雄 46 水上 強 41 目黒 恒雄 41 目黒 恒雄
K21 樽川 義夫 C16 長嶺 秋夫 36 齋田 宗平 E26 遠藤 文夫 43 内川 義則 出席者 118名
25 渡部 稔 17 渡部幸四郎 36 小椋山光之 26 管家 忠平 (来賓22名、会員95名、
28 五島 正凡 23 秋山 勇 38 伊藤 孝行 29 千葉 公胤 D40 板橋 順一 同伴1名)
31 山本 次男

- 16 34 17 34 31
C K K T T
小林 櫻井 林 勝保 千葉
義隆氏(平成二二年九月逝去)
靖久氏(平成二三年十二月逝去)
貞吉氏(平成二三年十二月逝去)
忠夫氏(平成二〇年十月逝去)
勝夫氏(平成二三年五月逝去)

計 報

平成23年度仮決算書

(自 平成23年4月1日 ~ 至 平成24年3月31日)

(単位：円)

Table with columns: 前期繰越金, 収入の部, 支出の部, 比較増減, 備考. Includes sub-totals for 小計 and 合計.

- 33 28 32 26 26 20 20 16
A A E M M M C C
林 渡部 渡部 林 中野 鈴木 木下 渡部
信一氏(平成二三年五月逝去)
喜博氏(平成二二年八月逝去)
浩氏(平成二〇年十一月逝去)
俊彦氏(平成二二年六月逝去)
義正氏(平成二二年十一月逝去)
正則氏(平成二三年六月逝去)
繁利氏(平成二三年四月逝去)
上氏(平成二三年十一月逝去)